

国語科学習指導案

令和2年10月 第3学年 指導者 奈良 裕美

1 単元名 場面をくらべながら読み、感じたことをまとめよう「ちいちゃんのかげおくり」

2 学習指導要領上の位置付け

(1) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。

【知識及び技能 (1) 語彙オ】

(2) 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。

【思考力、判断力、表現力等 C読むことエ】

(3) 言葉のもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとすること。

【学びに向かう力、人間性等】

3 目標

叙述を基に登場人物の行動や気持ちについて考えることを通して、次の指導事項が身に付けられるように指導する。

ア 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量が増えると、考えたことや思ったこと、場面の移り変わりが分かりやすくなることに気づき、語彙を豊かにすること。

【知識及び技能】

イ 登場人物の気持ちの変化や情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。

【思考力、判断力、表現力等】

ウ 言葉のもつよさに気づき、思いや考えを伝え合おうとすること。

【学びに向かう力、人間性等】

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（6／9）

(1) ねらい

四の場面のちいちゃんの気持ちと、自分の経験を結び付ける活動を通して、ちいちゃんの気持ちを考えることができるようにする。

(2) 展開

学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで学習したように今日も考えたいな。 ・ちいちゃんの気持ちは、どう変わっていたのかな。 ・今日は空色が出てくる場面だ。 ・赤が出てこない場面だな。 	5分	<p>○教材文の該当場面と本時で学習する内容が見開きになるようにしたワークシートを活用することで、児童が叙述に沿って考えたり、叙述にすぐ戻ったりできるようにする。</p> <p>○四の場面で登場する色を表す言葉や表現から、どのような場面であったかを振り返らせることで、本時の見通しをもたせる。</p>
<p>[めあて] ちいちゃんの気持ちを考えて、ちいちゃんへのお手紙を書こう。</p>		
<p>2 課題を追究するために個で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちいちゃんは死んでしまったのかな。 ・死んでしまったことに気が付いていないようでかわいそう。 ・なんだか一の場面と似ているな。 	10分	<p>○いつ、どこで、だれが、何をしたのかを考えながら、教師の範読を聞かせることで、特別な配慮が必要な児童も、課題を正しく追究できるようにする。</p> <p>○一の場面のかげおくりと何が違うのかを自由に発言させ、四の場面ではちいちゃんが死んでしまったのだということを共通理解し、一の場面のかげおくりのときの気持ちと比較させる。</p> <p>○「暑いような寒いような」「ふってきました」「体がすうっとすきとおって、空にすいこまれていくのが分かりました」など、直接的に死を表していない箇所を見付けさせることで、家族に会えてうれしい気持ちと死を自覚していない悲壮感を感じさせる。</p>
<p>3 ウェビングを使って自分の経験や気持ち、言葉のイメージを想起し、ちいちゃんへの手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちいちゃんが死んでしまって悲しいよ。 ・家族に会えてよかったね。 ・最後にかげぼうしができて楽しかったですか。 ・家族もちいちゃんに生きて会いたかったよね。 	20分	<p>◎「ふみしめて立ち上がる」についてウェビングを行い、自分の経験やその時の気持ち、その言葉から想像されるイメージを想起させ、ワークシートに整理させる。</p> <p>○ウェビングができない児童に対して「ふみしめる」「立ち上がる」と言葉を分けて考えさせたり、動作化したりして、言葉をイメージさせる。</p> <p>○手紙が書けない児童に対して、他の児童のウェビングを参考にさせたりして、「ふみしめて立ち上がる」行動を正しく想起できるようにさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>登場人物の心情やその変化や情景について、具体的に想像している。</p> <p style="text-align: center;">＜ワークシート（思考・判断・表現）＞</p> </div>

<p>4 書いた手紙を全体で交流し、本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ちいちゃんの家族に会えてうれしい気持ちを書いているな。 ちいちゃんの行動について考えたら、死んでしまったことの悲しさが分かった。次の時間も行動について考えていきたい。 	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○数名の児童の手紙を紹介し、自分の手紙との相違点を考えさせることで、新たな気付きをもたせる。 ○視点を明確にした振り返りをワークシートに書かせることで、本時の学習を振り返り、次時への意欲をもたせる。
--	------------	--

6 板書計画

<p>何をした</p> <p>かげおくり</p>	<p>だれが</p> <p>ちいちゃん (お母さん)</p> <p>ちいちゃん (お父さん)</p> <p>お兄ちゃん</p>	<p>どこで</p> <p>ぼうくうごう</p>	<p>いつ</p> <p>夏のはじめのある朝</p>	<p>めあて</p> <p>ちいちゃんの気持ちを考えて、ちいちゃんへのお手紙を書こう。</p>	<p>ちいちゃんのかげおくり</p> <p>あまん きみこ</p>
--------------------------	---	--------------------------	----------------------------	---	-----------------------------------

※教材文は大型テレビに投影し、黒板横に並べておく。

指導計画

国語科 第3学年

単元名 場面をくらべながら読み、感じたことをまとめよう「ちいちゃんのかげおくり」(全9時間計画)

目標	場面の移り変わりと叙述を結び付けることを通して、次の指導事項が身に付けられるようにする。 (1) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量が増えると、考えたことや思ったこと、場面の移り変わりが分かりやすくなることに気付き、語彙を豊かにすること。(知識及び技能) (2) 登場人物の気持ちの変化や情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。(思考力、判断力、表現力等) (3) 言葉のもつよさに気付き、思いや考えを伝え合おうとすること。(学びに向かう力、人間性等)		
評価規準	(1) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量が増えると、考えたことや思ったこと、場面の移り変わりが分かりやすくなることに気付いている。(知識・技能) (2) 読むことにおいて、登場人物の気持ちの変化や情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(思考・判断・表現) (3) 登場人物の気持ちの変化や情景について、粘り強く場面を想像し、言葉にこだわって思いや考えを伝え合おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		
過程	時間 ○ねらい ①めあて	・振り返り(意識)	評価項目 <方法(観点)>
つかむ	1 ○学習への見通しをもたせ、学習課題を設定する。 場面の移り変わりに着目して、ちいちゃんの気持ちについて想像したことを、伝え合おう。 登場人物の気持ちの変化を読み取るためにどのようなことを学習していけばよいか考えよう。	・ちいちゃんの気持ちを考えていきたいと思った。 ・また場面ごとに分けて登場人物の気持ちの変化を考えてみたいと思った。 ・自分とちいちゃんを比べながら読んでみたい。	・課題を解決するための読みについて考え、課題解決への意欲をもっている。 <ワークシート・発言(3)>
追究する	1 ○色を表す叙述に着目し、場面ごとの様子を整理する活動を通して、場面の移り変わりを捉えられるようにする。 色を表す言葉を探し、「ちいちゃんのかげおくり」のあらすじをたしかめよう。 4 ○場面ごとにちいちゃんの気持ちと自分の経験を結び付ける活動を通して、ちいちゃんの気持ちを考えることができるようにする。 ちいちゃんの気持ちを考えて、ちいちゃんへの手紙を書こう。	・空の様子を表す言葉がたくさん出てくることに気付いた。 ・赤や黒がたくさん出てくる場面は、とても怖い感じがするから、怖い様子で音読してみたい。 ・ひとりぼっちのとき、さびしくて悲しかったことがある。 ・場面が進めば進むほど、ちいちゃんが死んでしまったことの悲しさが増えていった。	・色を表す叙述に着目することで作品の様子や場面の移り変わりが考えやすくなることに気付いている。 <ワークシート・発言(1)> ・登場人物の心情やその変化や情景について、具体的に想像している。 <ワークシート・発言(2)>
まとめる	1 ○ちいちゃんの気持ちの変化を座標にまとめる活動を通して、場面の移り変わりとちいちゃんの心情の変化を視覚的に捉えられるようにする。 ちいちゃんの気持ちの変化をグラフに表そう。 1 ○感想を書いて読み合う活動を通して、自分の考えと似ている所や違う所、新たな考え方に気付き、学習を振り返ることができるようにする。 「ちいちゃんのかげおくり」の感想を書き、読み合おう。	・グラフにまとめたら、場面の様子と一緒に、ちいちゃんの気持ちも変わっていったことが分かった。 ・友達の感想を聞いて、そういう考え方もあるのだと知ることができた。	・五の場面の役割を他の場面との関わりに着目して捉えている。 <ワークシート・発言(2)> ・場面の移り変わりや心情の変化に着目して、叙述を根拠にちいちゃんの気持ちをまとめている。 <ワークシート・発言(2) [記]> ・友達の感想と比較し、気付いたことを今後の学習に生かそうとしている。 <ワークシート・発言(3)>